



こうじレポート No45

上尾市議会議員 池野 耕司
上尾市浅間台4-17-15
TEL: 048-775-8259
FAX: 048-773-6357

1. 平成23年度一般会計補正予算514,942千円承認される

9月定例議会において補正予算が上程され審議の結果承認されました。主な歳入は地方交付税、国・県支出金、繰越金、市債が主な原資となります。予算額の多いのは①土木費約2億8千万円（上尾中山道東側地区市街地再開発事業、道路修繕・改良、境橋修繕事業）、②総務費約1億3千万円（学童保育所整備事業、被災地復興支援事業、文化センター整備）、③民生費6千万円（障害者施設整備、家庭保育室環境改善事業、児童虐待防止対策）、④商工費4千万円（支援金付きアッピー商品券発行事業）となつています。

2. 被災地復興支援事業（4,994千円）

岩手県陸前高田市、福島県本宮市への復興支援を目的とする事業です。その概要は次の通りです。

① 復興支援バス事業（815千円）

市民ボランティアの方々に被災者支援をして戴くためのレンタカー借上料、社会福祉協議会への委託料等を含む。年内2回実施。作業内容はガレキ、草刈りが中心です。

② 物資支援事業（623千円）

作業服に市内中学生に応援メッセージを刺繍して戴き（がんばろう東日本）陸前高田市に届ける。その数は1,055着で、3回分の運送費、職員旅費。10月中旬までに現地に届ける予定。

③ 子どもたちとの交流事業（3,119千円）

本宮市の子どもたち、保護者を上尾市に招き、上尾市の子ども会を中心に子ども、ジュニアリーダーと一緒にレクリエーションを行い、親睦・交流を図る。今後の交流事業としては上尾シティマラソン、駅伝競走大会への参加等4回程予定している。

3. 一般質問について

今回は1、災害に強い街づくりについて 2、学校の防災拠点化と災害対策 3、学校における「ものづくりを通した教育」の3件を質問しました。

○災害に強い街づくりについて

Q……災害時に特別に配慮すべき人、いわゆる要援護者と思われる方と、その方を支援する人をどのように選定し把握管理していますか？

A……市は要援護者の支援者選定については、要援護者本人が支援者を選定し、支援者については市において台帳管理をしている。

○学校の防災拠点化と災害対策

Q……防災倉庫の整備率及び有事の際の資材、用具等倉庫内の使用手順はどのような方法で行うのか？

A……市の職員がそれぞれの避難所に参集することになっている。倉庫の鍵は参集する班長と学校長が所有しており、災害時や緊急時に学校長と班長が防災倉庫を開けて使用することになっている。尚、防災倉庫は市内小中学校すべてに設置されています。

○学校における「ものづくりを通した教育」

Q……児童生徒が「ものづくりの魅力」を感じるには、市内の産業の特色や状況に関心を持たせ続けることも大切です。「農工商を含むものづくり産業」の状況を今後の教育でどのように行うのか？

A……教育委員会と致しましては、上尾の町の良さや魅力を児童生徒がよりよく理解できるように、副読本「のびゆく上尾」の充実を図ってまいります。

4. 上尾市既存木造住宅耐震診断補助金 担当 都市整備部 建築指導課

平成20年度に策定されました。昭和56年5月30日以前に建築された木造住宅の耐震診断補助を行っております。補助上限は2万5千円です。平成20年度～22年度まで14件の申し込みがありました。